



住所:東京都中央区日本橋大伝馬町13-8  
メディカルプライム日本橋小伝馬町3階  
TEL:03-3639-3110 FAX:03-3639-3112

## 2021年1月 診療カレンダー

1. 内科・生活習慣病

2. 心臓病

3. 糖尿病

4. 睡眠時無呼吸症

5. 土曜日診療



あけまして  
おめでとう  
ございます



ホームページ

日	月	火	水	木	金	土
	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

休診日 午後休診 18時最終受付

一般外来	9:30-12:00	16:00-19:00
発熱外来	12:00-13:00	15:30-16:00

「今月の言葉」  
すべてのものにはヒビがある。  
そして、そこから光が差し込む。  
(レナード・コーエン)



### <お知らせ>

●1月22日(金) 午後臨時休診

### <発熱外来>

電話でのみ予約を受け付けます  
非常階段からのご案内となります

- ・時間 12:00~13:00、15:30~16:00
- ・受診の目安
- ①37.5℃以上の発熱②咳やくしゃみ
- ③インフル・新型コロナが心配の方

さいとう内科・循環器クリニック  
LINE公式アカウント

@237gsvtvx



### 無観客の紅白歌合戦



新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願  
いいたします。

残念ながらこの年末年始は新型コロナウイルス感染症に収束の兆  
しが見えず、増え続ける陽性者数に世間は重苦しい雰囲気におま  
れられていたように感じます。

昨年クリニック通信で書きましたが、我が家では大晦日は「紅白  
歌合戦」、元旦の夜はウィーンフィルの「ニューイヤー・コンサート」  
を見るのが毎年の恒例行事となっております。

ご存知のとおり、昨年暮れの「紅白歌合戦」は史上初めて観客を入  
れずに行われるとのことで、いったいどのようなステージになるの  
かと思っていました。実際はテレビで観たぶんにはとくに大きな変  
わりはなかったように思えました。私の好きなSuperflyやMISIAの歌  
も堪能できましたし、それ以外では松田聖子の「瑠璃色の地球」や  
玉置浩二の「田園」などが個人的には印象に残りました。三山ひろ  
しは歌そのものよりもギネスにチャレンジの「けん玉」が気になって  
ハラハラして見守ったり、50年連続出場という五木ひろしに感心し  
たり、わが？北海道出身の大泉洋の司会に、「やはり大泉洋の声  
は滑舌がよくて聞きやすいなあ！」と最初から最後まで存分に楽し  
むことができました。

しばしば、歌手の背後からのアングルからの映像もありましたが、  
当然のことながら客席には誰ひとりいません。無観客の大きな空間  
に向かって魂をこめて歌いあげる歌手のひとりひとりにとても胸  
を打たれました。

正面からの映像では観客不在をまったく感じさせませんでした。彼  
らの心の中はどんな想いだったのか、前例のない紅白歌合戦の  
ステージに立つ歌手の姿に何ともいえない気持ちになりました。

実は、私たち医療の分野においてオンラインでの業務が急激に増  
えてきました。例えば研究会や学会はいまやほとんどがオンライン  
で開催されています。私もオンラインで研究発表をしたことがありま  
すが、聴衆の反応が全く分からないので手ごたえがなく、虚しいよ  
うな何ともやりづらいのです。一緒にするわけではありませんが、  
紅白に出場していた歌手のみなさんも聴衆の反応がないなかで歌  
うということは、きっと大変なことであつたろうと思います。

ところで、ウィーンフィルの「ニューイヤー・コンサート」も紅白同様、  
無観客での演奏でした。指揮者のリッカルド・ムーティはじめ楽団  
員はみな正装をし、美しい花で飾られたステージにこやかに入場  
してきますが、もちろん拍手はまったくありません。いつもなら2階席  
まで聴衆でびしりの楽友協会のホールもガラとしており、曲が  
終わっても拍手がありません。全世界に中継されているとはいえ、  
聴衆の熱気のない演奏会というものは何とも物足りなく、おさま  
りが悪くムズムズするような感じでした。

ウィーンフィルの「ニューイヤー・コンサート」では、アンコールの「美  
しく青きドナウ」では出だして観客が「待ってました！」とばかり拍  
手をはじめ、そのタイミングで指揮者が一旦演奏を止めて「Prosit!  
Neujahr! プロジット! ノイヤー! (新年おめでとう!)」と楽団員と  
声を合わせるのが習わしとなっています。無観客だった今年の演  
奏会ではそれができず、リッカルド・ムーティが新年のスピーチを  
して、最後に「Prosit! Neujahr」と団員全員が声を合わせておしま  
い。最後にリッカルド・ムーティがスピーチをしていましたが、それが  
とてもよかったです。

「音楽とは職業ではなく使命です。身体・健康も心の健康も大事で  
す。音楽は心から感動するもの。音楽や文化は良い社会を維持す  
るための大切な要素のひとつなのです」このようなことを彼は言っ  
ておりました。演奏会にさきがけて記者会見も行ったようです。  
そのなかで彼は、「コンサートでは何らかの反応が欲しいものです。  
そうしたものは今回はありません。しかし私たちは1月1日のコン  
サートは美しい音楽をお届けするだけではない。「希望」をお届け  
したいのです。たとえホールの中に聴き手がいなかったとしても、  
世界中でこのコンサートを見てくださる皆さんに届けたいのは、  
“希望”であり“平穩”への思いなのです」と述べていました。

「紅白歌合戦」も「ニューイヤー・コンサート」も無観客でも届け  
たい想いは同じなんだと感じました。満員の会場で歌や音楽を  
みんなで楽しめる日が1日も早く訪れるよう、希望を胸に  
今日からまた前に進んでいきましょう。

